

新潟駅前弁天通商店街振興組合

住 所	〒950-0901 新潟県新潟市中央区弁天1丁目2-4		
U R L	—		
設 立	平成14年10月	主 な 業 種	飲食店
組 合 員 数	73人	出 資 金	2,150千円

■背景・目的

当商店街は飲食店が集まる新潟県内随一の歓楽街であり、当商店街と新潟県内の酒蔵は常に両輪として歩んできている。近年、新型コロナウイルスの影響により飲食店が厳しい状況に立たされる中、仕入先である酒蔵には公的な支援が乏しいため、当商店街と酒蔵とが一体となってクラウドファンディングに取り組み、「商店街の維持」「酒蔵支援」を目指し、更に感染拡大予防策を「街レベル」で実施していくことを検討した。

■取組みの手法と内容

当商店街の青年部副会長（現 理事）を中心に青年部員5名と組合事務局長、県内酒蔵、酒屋、広告代理店が協力し、県内の酒蔵支援と当商店街維持を念頭にクラウドファンディングを2020年夏に実施。賛同した10社の酒蔵と連携し、「日本酒」や「オリジナルの蛇の目グラス」等を制作・配付した。

また、感染拡大予防策としては「安全で安心して飲食ができる商店街」「人々が安心して息抜きをして頂けるための街」を目指していかなければいけないと考え、「個店レベル」ではなく「街レベル」で実施を決断した。必要な備品をアンケートにて事前に調査し、非接触型温度計、アルコール消毒液、マスク、飛沫防止対策用アクリル板等の感染対策用品を街区内の約7割の店舗に配付。また同取り組みに賛同した店舗には商店街独自のステッカーを店先に貼り、商店街区には「安心・安全宣言」の垂れ幕を掲げるなど、安心して飲食頂けるお店として周知を徹底することで集客力の回復に取り組んだ。

これら2つの取組みについて中央会支援の下プレスリリースを行い、紙面やラジオへの出演を通してPRしてきた。

■成果とその要因

クラウドファンディングでは目標金額を達成する事はできなかったが、38都道府県の方より寄付を集める事ができた。また、寄付者は県外の方が多く、返礼品を通して周知をしてくれたりと、実際の寄付金額よりも高い効果が得られたと感じている。更にクラウドファンディングや、街レベルで統一した感染対策にも取り組んだことで組合員の組合への帰属意識が高まりました。

令和3年度以降も商店街イベントとしてクラウドファンディングの活用を予定しており、今後も組合活動の幅を広げていくこととしている。



クラウドファンディングプロジェクト



安心安全宣言ステッカー



青年部員のリーダーシップと、それを支える理事会と事務局長の体制。